

# 森と水の共生・岩魚養殖と水環境体験ツアー

実施団体：(株)さとゆめ・小海町



## 地域の特徴と活動背景

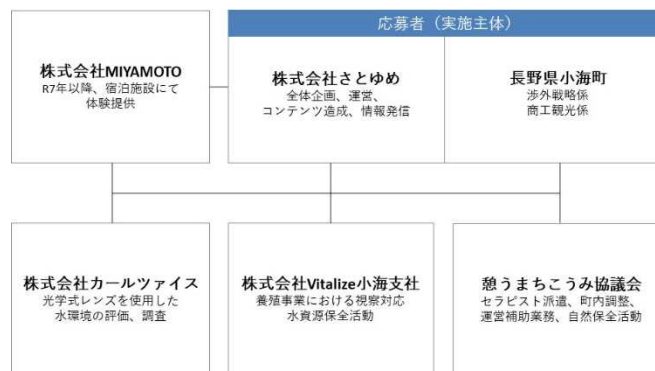
### 【地域の特徴】

- ・ 八ヶ岳連峰の裾野に広がる水と緑に恵まれた町で、松原湖高原を中心に観光で栄えてきた地域
- ・ 持続可能な地域づくりの観点から、観光利用してきた自然資源を人々の保養（憩いの場）に活かし新しい魅力を創造する「憩うまちこうみ事業」を展開

### 【地域課題】

- ・ 軽井沢や八ヶ岳観光全体の中では通過地になりがち
- ・ 訪れる都市部の人々へ湧水地の自然環境を活かしたコンテンツを拡充し、多面的な魅力を発信する必要
- ・ 高齢化による湧水地等の地域環境保全の担い手が不足

## モデル事業の実施体制



## R 6 年度モデル事業における取組内容および成果

### モニターツアー実証実験

- ・ 湧水・環境保全体験ツアー造成のため企業専門家デモツアー及び一般向けモニターツアーを実施
- ・ 参加者意見交換、アンケートを通じニーズを把握する他、町民セラピスト提供プログラムの可能性（五感訴求、地域参加）等を把握



湧水地自然観察



デモツアー参加者  
意見交換

### 体験型ツアー造成・ツール制作

- ・ 左のモニターツアーのプログラム検討やプログラム提供協力者との意見交換、デモツアー・モニターツアーの実施結果をもとに体験型ツアーを造成
- ・ 体験する地域資源の魅力を伝えるPRツールプロトタイプを制作



モニターツアー案内 PRツールプロトタイプ



### ワークショップ・セミナー開催

- ・ 湧水・環境保全活動及びその体験型ツアー実施の持続的展開に向けた体験型のワークショップ・セミナーの試行的開催（事業期間中4回）
- ・ 関係人口創出を通じ地域外からの協力者・担い手を拡張する必要性等を把握



都市部企業の社員等の保養と環境への気づきへ

### 担い手づくりに向けた意見交換

- ・ 地元美術館や小学校と意見交換を実施し湧水・環境保全活動の継続化のために社会教育連携、学校教育連携の可能性を検討
- ・ ツアー実施地の1つである五箇湧水のある集落住民との意見交換を通じ住民のウェルビーイングにつなげる方策・課題を検討



地元での意見交換

## 今後の課題および取組方針

- ・ 体験型ツアー実施地である五箇エリアと松原湖エリアの地域や自然環境の状況・特性に応じた湧水・環境保全体験ツアーを展開
- ・ 限界集落で湧水を守る五箇エリアでは企業や関係人口の巻き込みを企図し自然共生サイト認定も視野に活動やツアーを展開
- ・ 観光地でもある松原湖では町民セラピストによるプログラム提供を基礎に社会教育や学校教育とも連携し保全活動を活性化
- ・ 将来的には湧水・環境保全活動及びその体験型ツアーを通じた地域内外の担い手の巻き込みを小海町全体に拡張